

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東
コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 笹澤 純人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,337	46.7	338	—	385	—	243	—
2025年3月期第1四半期	4,319	3.0	△611	—	△484	—	△345	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 326百万円(101.3%) 2025年3月期第1四半期 162百万円(△73.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	14.40	—
2025年3月期第1四半期	△19.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	62,126	36,575	58.5
2025年3月期	60,415	36,603	60.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 36,343百万円 2025年3月期 36,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	29.9	1,400	—	1,400	—	850	148.9	50.38
通期	40,000	20.2	3,300	194.8	3,300	169.3	2,100	60.6	124.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	18,098,923株	2025年3月期	18,098,923株
2026年3月期1Q	1,226,741株	2025年3月期	1,226,741株
2026年3月期1Q	16,872,182株	2025年3月期1Q	18,066,348株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における日本経済の情勢は、米国の関税措置を始めとする各国の通商政策等の影響を受け、海外経済が減速し、国内企業の収益も下押しされる懸念がある中、緩やかな金融環境が下支えとなり、全体としては緩やかな成長が継続いたしました。一方、海外情勢においては、ウクライナや中東情勢等の地政学的リスク、各国の関税導入に伴うグローバルな貿易活動への影響、海外経済の減速懸念や資源・穀物等の物価動向への影響等、引き続き不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、緩やかな金融環境が下支え要因として作用する中、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資、自動車産業における電装化、安全化のための設備投資等をはじめ、製造生産システムの自動化、効率化、高品質化ニーズ等により、モビリティ業界を中心に景況感が悪化している欧州市場を除き、設備投資は緩やかな増加傾向となりました。

当社グループは、ユーザーの生産システム全体のデザイン・構築に技術・アイデアを提供し、また生産工程全体の効率化や品質向上にも貢献する「ラインビルダー」として、ユーザーごとの固有のニーズやウォンツを実現する一貫生産ラインの提供に努めております。モビリティ業界を中心とした新たな技術革新に伴うユーザーの新規製品の自動化案件に対して、ユーザーと共に先端設備の開発を行っており、従来よりも生産設備の規模が大型化し、納期も長期化の傾向にあります。また、採用したい人材が集まる場所にテクニカルセンターを開設するなど、即戦力となる人材の確保を目的とした「サテライト戦略」により、ニッチな業界における優れた即戦力人材の確保を推進しております。

以上の状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は63億37百万円（前年同期比46.7%増）、営業利益は3億38百万円（前年同期は営業損失6億11百万円）、経常利益は3億85百万円（前年同期は経常損失4億84百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億43百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億45百万円）となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

（ワインディングシステム&メカトロニクス事業）

当社グループは、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載する技術をベースにし、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムによるさまざまな生産ライン構築を提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、ニッチな分野でのオープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブラックオーシャン戦術」をグローバルに推進することによって、競合他社の参入障壁を高め、競争力及びマーケットプレゼンスの更なる向上に努めております。この成果として、半導体業界向けの高精度ダイボンダーやハンドラー、電池業界向けの捲回機等、コイルデバイス事業やモータ事業以外の領域が広がっております。次世代太陽電池として期待されているペロブスカイト太陽電池については、経済産業省による導入推進のもとで、市場拡大が見込まれている中、当社はペロブスカイト太陽電池製造プロセスにおける生産ラインの大型受注を獲得いたしております。

これらの結果、全売上高の約92%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業においては、連結売上高は58億51百万円（前年同期比49.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4億79百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）4億49百万円）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は80億88百万円（前年同期比65.7%増）、売上高（生産高）は39億66百万円（前年同期比102.0%増）、当第1四半期末の受注残高は271億26百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

(非接触 I C タグ・カード事業)

当第1四半期においては、非接触 I C カードの売上高は4億24百万円と前年同期比18.5%増、生産ライン管理用の F A タグや電池タグ等、タグの合計売上高は、半導体の需要増加等に伴い生産ライン管理用 F A タグの売上が増加したことにより、44百万円と前年同期比3.87倍となりました。

これらの結果、連結売上高は4億86百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億51百万円（前年同期比46.4%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は4億73百万円（前年同期比28.6%増）、売上高（生産高）は4億91百万円（前年同期比20.1%増）、当第1四半期末の受注残高は6億57百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比13億7百万円増加し、428億34百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が22億7百万円、現金及び預金が8億98百万円減少したものの、仕掛品が21億86百万円、電子記録債権が18億34百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比4億3百万円増加し、192億91百万円となりました。これは主として、土地が1億47百万円、投資有価証券が1億16百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比17億10百万円増加し、621億26百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比21億82百万円増加し、185億11百万円となりました。これは主として、契約負債が14億38百万円、電子記録債務が8億95百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比4億44百万円減少し、70億39百万円となりました。これは主として、長期借入金が4億71百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比17億38百万円増加し、255億50百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比27百万円減少し、365億75百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日（2025年8月8日）公表をいたしました「2026年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,907	14,008
受取手形及び売掛金	8,147	5,940
電子記録債権	1,609	3,444
仕掛品	13,227	15,414
原材料及び貯蔵品	2,469	2,403
その他	1,238	1,695
貸倒引当金	△73	△72
流動資産合計	41,527	42,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,299	6,142
機械装置及び運搬具（純額）	1,254	1,289
土地	3,878	4,025
その他（純額）	617	585
有形固定資産合計	12,050	12,042
無形固定資産		
のれん	211	198
その他	237	319
無形固定資産合計	449	517
投資その他の資産		
投資有価証券	2,999	3,116
退職給付に係る資産	700	704
繰延税金資産	268	320
その他	2,419	2,589
投資その他の資産合計	6,387	6,731
固定資産合計	18,888	19,291
資産合計	60,415	62,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,496	2,032
電子記録債務	1,025	1,920
未払法人税等	185	148
契約負債	7,855	9,293
賞与引当金	748	389
1年内返済予定の長期借入金	1,966	1,934
その他	2,050	2,791
流動負債合計	16,328	18,511
固定負債		
長期借入金	6,067	5,595
退職給付に係る負債	6	9
繰延税金負債	902	999
その他	507	434
固定負債合計	7,483	7,039
負債合計	23,812	25,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,562	2,562
利益剰余金	25,343	25,232
自己株式	△2,334	△2,334
株主資本合計	32,456	32,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,099	1,141
為替換算調整勘定	2,649	2,701
退職給付に係る調整累計額	183	154
その他の包括利益累計額合計	3,933	3,997
非支配株主持分	212	231
純資産合計	36,603	36,575
負債純資産合計	60,415	62,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,319	6,337
売上原価	3,290	4,215
売上総利益	1,028	2,121
販売費及び一般管理費	1,640	1,783
営業利益又は営業損失(△)	△611	338
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	28	20
受取保険金	40	—
その他	61	36
営業外収益合計	146	73
営業外費用		
支払利息	15	22
その他	4	4
営業外費用合計	19	26
経常利益又は経常損失(△)	△484	385
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△484	385
法人税、住民税及び事業税	46	98
法人税等調整額	△172	25
法人税等合計	△125	124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△359	261
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△345	243

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△359	261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	41
為替換算調整勘定	454	52
退職給付に係る調整額	△26	△28
その他の包括利益合計	521	65
四半期包括利益	162	326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	307
非支配株主に係る四半期包括利益	0	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,909	409	4,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,909	409	4,319
セグメント利益又は損失(△)	△449	103	△346

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△346
全社費用(注)	△264
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△611

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社アステクノスとAPI Hard- & Software GmbHの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。これにより「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」において、株式会社アステクノスののれんが131百万円、API Hard- & Software GmbHののれんが133百万円発生しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,851	486	6,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,851	486	6,337
セグメント利益又は損失 (△)	479	151	630

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	630
全社費用(注)	△292
四半期連結損益計算書の営業利益	338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	268百万円	272百万円
のれんの償却額	13百万円	13百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
日本	1,726	409	2,135
中国	796	—	796
アジア	632	—	632
北中南米	132	—	132
ヨーロッパ	622	—	622
顧客との契約から生じる収益	3,909	409	4,319
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,909	409	4,319

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしています。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
日本	2,465	486	2,951
中国	1,064	—	1,064
アジア	390	—	390
北中南米	1,695	—	1,695
ヨーロッパ	235	—	235
顧客との契約から生じる収益	5,851	486	6,337
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,851	486	6,337

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしています。